くさばな しんぶん

2018年４月号

197-0802
東京都あきる野市草花3060
電話　042-558-3018
ﾌｧｯｸｽ 042-559-3071

♪やねよりたかいこいのぼり♪（鯉のぼり集会　四月十六日）

《新年度がスタートして》

新年度がスタートして一ヵ月が経とうとしています。初めての集団生活、新たなクラス編成、保育室の移動、担任の交代など、新入園児はもちろん進級児にとっても生活と環境の大きな変化があり、はじめは戸惑いもあったかと思います。各担任が書いている「成長の記録」にもその様子が書かれています。それぞれのお子さまにとって新しい経験がたくさんあり、それが家庭では体験できない「社会性」を獲得して行く上で大事なステップだと思います。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

《新役員のみなさま、よろしくお願いいたします》

平成三十年度の保護者会の役員さんが、本日配布の手紙にもあるとおりに決まりました。最近はお仕事をされているお母さま方が多いので、なかなか保護者会活動のための時間を割くことがむずかしい中で、お引き受けいただいて感謝申し上げます。園としましては、役員のみなさんに過剰なご負担をおかけしないよう考えていますが、連絡を密にして、「役員をやって良かった」と感じていただけるよう努めて行きますので、よろしくお願いいたします。

《幼稚園フェスティバルそして復興支援物産展》

毎年恒例の「幼稚園フェスティバル」が五月十二日（土）に秋留野広場で開催されます。詳しくは本日配布のチラシをご覧ください。本園のブースのテーマは「おさんぽどうぶつを作ろう！！～カプラもあるよ」です。午前十時から午後三時まで開かれていますので、たくさんの方のお越しをお待ちしています。

また、その一週間後の五月十九日（土）、同じ秋留野広場で、午前十一時から午後五時半ごろまで、秋川仏教会が主催する「東北・九州復興支援物産展」が開かれます。七年前の東日本大震災そして三年前の熊本大地震と福岡を襲った豪雨災害の爪あとはまだまだ深く残っていて、支援が必要な状況が続いています。この物産展には、岩手、宮城、福島、熊本そして福岡の各県のアンテナショップが参加し、各県のゆるキャラも登場します。各地の物産や食べ物も販売されます。一部で飲食もできます。各県の品物を買い、食べることによって、ささやかながらお助けができればと思います。なお、この広場では、若いお坊さんたちによる大々的な太鼓の演奏が、四回披露されます。これも聞き応えがあると思います。

また、月遅れの花まつりも兼ねて、正午からお稚児（ちご）さんの行列があり、張り子ですがおおきな白い象さんがお稚児さんに引かれて秋川駅前大通りを練り歩きます。キララホール、秋留野広場、駅前周辺がとても賑やかになると思います。こちらにもぜひお越しください。

《くりくり坊主頭の柏の木》

大行寺の境内には大木がたくさんあります。イチョウが二本、ケヤキが二本、サクラが五本、クスノキが一本、そして幼稚園の入口のカシワの木です。この春休みに、駐車場のケヤキとカシワの木を植木屋さんに伐ってもらいました。大型のクレーン車が来て、その吊り下げるゴンドラに乗った職人さんがチェーンソーでバリバリ伐りました。とても危険な作業です。ケヤキは下から十メートルほどのところで幹を伐りました。降ろした部分は鐘撞堂の東側に、こどもたちが跨がって遊べるよう据え付けてあります。これだけで重さが五百キログラムあるということで驚きました。

さて、カシワの木ですが、この種類でこれほどの大木はあまりないそうです。これまで枝は伸び放題に伸ばして来ましたが、初めて枝をつめました。細かくても枯れた枝が落ちてきたり、渋のような黒い落下物が屋根を汚したり、大きなハチが飛び込んで行ったりと、いろいろ不都合が出て来ていましたので、いわば「散髪」をしました。木のためでもあります。頭がすっかりくりくり坊主頭になり、軽そうです。この夏は、提供してくれていた木陰が減ってしまいますが、いずれまた枝を伸ばしに伸ばしてくることでしょう。

《追悼―歯科嘱託医　金田洌先生》

平成十九年から本園の歯科健診を担当してくださっていた金田洌（きよし）先生が、去る三月十六日逝去されました。享年六十九歳でした。

先生は、関東逓信病院などに勤務の傍ら、本園や草花保育園の歯科健診をしてくださり、いつも「お子たちは」などと丁寧に接してくださいました。東京医科歯科大学で歯学博士号を得ています。

子どもの歯については、強い関心を持ってくださっていて、先生の文章は小学校の四年生の国語の教科書にも掲載されています（光村図書　国語四（上）「かがやき」）。その文章の題名は、「『かむ』ことのちから」で、しっかり噛んで食べることがいかに大事かが、やさしい文章で書かれています。

また、先生は、「ははははははいい（母は歯はいい）」（クインテッセンス出版）という絵本の監修もされています。

先生の兄上も歯科医で私と同級生ということもあって本園の歯科嘱託医をしてくださっていたのですが、その兄上が十二年前に亡くなられ、後を引き受けてくださっていました。数年前から体調を悪くされていたようで、春まだ浅い日にこの世に別れを告げられました。とっても残念です。長い間ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。　　合掌（四月三〇日記）

理事長・園長　山城　清邦

日々の保育から

主任教諭　影山 幸江

４月の入園、進級式から早くも１ヵ月が経ち、少しずつ幼稚園の生活にも慣れたお子さま達の顔には笑顔が見らえるようになりました。１日も早く幼稚園が楽しく、毎日元気に伸び伸びと過ごせる場となりますよう見守りたいと思っております。

さて、私たち幼稚園教諭は、「幼稚園教育要領」という文部科学省が定める教育課程の基準に沿って日々の保育を行っています。今年度よりこの「幼稚園教育要領」が改定され、その中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」というものが１０項目で示されました(10の姿)。これは、幼稚園卒園頃までに育ってほしい姿として挙げられていますが、５ 歳児終了時に完全にできるようになる、出来るように育てなくてはいけないという到達目標ではなく、そうした方向に育つように保育者は指導を進めていきましょうというものです。

具体的には、①健康な心と身体　②自立心　③協同性　④道徳性、規範意識の芽生え　⑤社会生活との関わり　⑥思考力の芽生え　⑦自然との関わり、生命尊重　⑧数量、図形、文字等への関心、感覚　⑨言葉による伝え合い　⑩豊かな感性と表現となっております。

こうして挙げるととても難しく感じますが、入園から卒園までの間、幼稚園での生活を通して様々な経験をする中で見えてくるであろう姿です。お子さま達が(１０の姿)に少しでも近づけるように意識をもってお手伝いをしていきたいと考えております。お子さまや園のことで何かご心配がありましたら、いつでもお声かけください。また、来月からは(１０の姿)を捉えながらお子さま達の様子をこのコーナーでお知らせしていきたいと思っておりますので、１年間どうぞよろしくお願いいたします。

保護者会だより

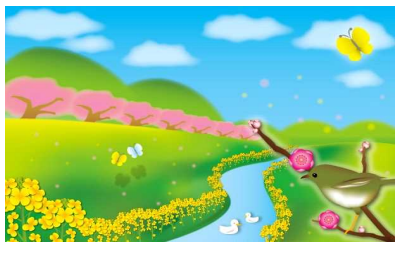
ご入園、ご進級おめでとうございます。

新年度になり、それぞれに新しい環境で奮闘されていることと思います。

保護者会役員も新しいメンバーでスタートすることとなりました。

平成３０年度役員紹介

会　長	**佐藤　数菜（やま組）**	
かわ１組	橋田　恵美子	茂木　亜希子
かわ２組	丹澤　希	松崎　晶美
も り 組	池田　有希	堀　美紀
	山下　千枝	
や ま 組	佐藤　数菜	佐藤　紀江
	島村　彩恵	



精一杯頑張りますので、１年間よろしくお願いいたします。

役員一同